

(獅子島交通ネットワーク協議会)

(設立21年12月18日・鹿児島県長島町)

地域公共交通の現状

- ①獅子島を発着する航路は、天長フェリー(株)経営の長島～獅子島～天草航路、(有)波戸汽船経営の長島～獅子島航路、(有)獅子島汽船経営の獅子島～水俣航路の3航路があり、獅子島と長島本島、天草市、水俣市の3方面とを結び、他に交通手段のない獅子島住民の重要な交通手段となっている。
- ②航路運営は急速な少子高齢化・過疎化の進展により輸送需要が減少していることに加え、原油高騰による運航経費の上昇等から厳しい状況にある。そのため、長島～獅子島航路と獅子島～水俣航路の2航路が鹿児島県並びに長島町の指定補助航路となっている。
- ③航路需要の減少を地域間交流の喚起や広域的な観光交流の促進により最小限に抑え、航路の活性化や効率性・利便性の追求等に取り組む必要がある。

調査事業の概要

※地域公共交通総合連携計画策定調査事業
(交付額:16,450千円)

○調査内容

- ①島外者の利用可能性の把握(モニターツアーの実施、モニターツアー客及び島内の地域活性化事業参加のために来島した島外客へのアンケート調査)
- ②獅子島航路の活性化策の実施に伴う航路等への効果・影響分析(活性化策の実施に伴う航路等への効果・影響の分析)
- ③獅子島航路の活性化策の具体的な検討(獅子島航路の運航計画の検討、獅子島航路の利用促進策の検討)
- ④公共交通連携計画書作成(実施事業の検討、事業主体の育成と組織づくりの検討、住民・関係者説明会の実施)

○連携計画(案)に盛り込む予定の概要

①獅子島航路を中心とする公共交通の利便性強化

獅子島航路に接続するバスに加え鉄道(九州新幹線、肥薩おれんじ鉄道)等の公共交通機関、さらには道路事情などの現状を踏まえ、島民の利便性向上、地域への入り込み客の増加につながる運航計画を検討し、実証運航によって検証する。
⇒ 島内移動の確保や鉄道やバスとの接続改善等による

需要喚起策の実施

②航路利用と一体となった広域的な観光交流促進

獅子島を中心とする航路を利用した集客プランの検討や、来年度以降に実施する事業を想定し、航路の実証運航と並行して進める体験型観光プログラムをモニターツアーと連携しながら検討する。また、島内の詳細マップの作成、船舶や港湾施設の魅力づくり、案内板の整備等について、具体的なイメージ案を作成する。
⇒獅子島へのアプローチプラン・デザインイメージ等の

コンテンツ作成、広報推進

③航路活性化に向けた組織強化と周辺地域との連携強化

九州新幹線全線開業(平成23年春)、南九州西回り自動車道の整備(九州自動車道八代JCT-芦北ICの供用開始)等に伴う広域交流の進展を機会として捉え、獅子島公共交通ネットワーク協議会を中心とする具体的な組織活動のあり方を検討する。
⇒ 次年度以降の事業推進主体の形成

